

川崎市議会議長 浅野文直様

平成26年8月22日

宮前区馬絹1397-3

リニア新幹線を考える

高津・中原・宮前・麻生・多摩の会

共同代表 山本太三雄

リニア新幹線着工前に沿線住民への速やかな説明会開催を求める陳情

陳情の要旨

平成26年7月、国土交通大臣が、JR東海に意見書を提出しました。

その内容の中に、「地域住民等への丁寧な説明」【1. 総論の(1)】という項目があります。

いまだに自分が住んでいる住宅の地下にリニア中央新幹線の工事が計画されていること自体を知らない人が多いと思います。

丁寧な説明とは、少なくとも、路線上の住民に対しては、計画自体を知らせ、知らない住民がないよう、説明会を開催して、計画の内容及び影響について、住民に判り易く、説明し、理解してもらうことだと思います。具体的には、

- (1) リニア新幹線路線上の誤差を含め両側で幅200メートルの住民に対し通知し説明会を速やかに開催すること。
- (2) 通知方法については前回の新聞チラシ以外にもポスティング、町会回覧、郵送などを検討し、出来るだけ多くの住民に対し説明会について告知すること。
- (3) 開催単位などは町会単位など住民組織と相談し、説明会開催地域は町内会、自治会単位とすること。
- (4) 開催日は平日のみならず休日を含め、出来るだけ多くの住民が参加し易い曜日や時間帯を選ぶこと。
- (5) 非常口と大深度地下（トンネル）工事についての説明にあたっては特に路線上の住民に直接影響のある、工事の際の騒音、振動のレベルなどを具体的な数値で、生活に支障をきたさないのか、夜間工事が安眠を妨害しないのか説明すること。準備書と違う点を中心に判り易く説明すること、生活への支障、安眠妨害の場合にどのような補償をするのか、また、資産価値の下落と補償の有無の説明をすること。

是非、市としてJR東海に路線上の住民に充分説明するよう、工事認可前に申し入れ、実施するよう陳情します。よろしくお願いいたします。

陳情の理由

1. 関係住民への説明会はありましたが、具体的に路線上の住民への説明会は開催されていないので、自分が住んでいる真下に計画されていること自体知らない住民が多数います。説明会の開催の広報も一度新聞チラシがありましたが充分とは言えず、新聞を取っていない若者の建売り住宅の購入者などへの広報がなされていません。開催日も働いている人が参加できない平日のみであったりしています。
2. 準備書の地図を見た人でも、リニアの路線が自宅の下を通る計画かどうかははっきり確認できません。
3. 住民が直接どのような影響を受けるのかが不明。
工事、特に夜間工事の際の騒音、振動、その期間、開業後の騒音、振動、磁界の影響、資産価値の下落と保障の有無などが不明です。
4. 過去の説明会で、JR東海は、住民の質問に対し具体的な数値を示すなどの適切な回答をしてこなかったことが明らかになったため、7月の国交大臣の意見書に丁寧な説明を、との意見が追加されたものと理解されます。今までのような住民の質問に対する適切でない回答であってはなりません。これからは質問に対して具体的に的確に回答することが丁寧な説明と言えるでしょう。

国土交通大臣やこれまでの市のJR東海への意見などの主旨も踏まえ、また、住民自治の観点からも市議会として速やかな住民説明会の開催に尽力して頂けるようここに陳情いたします。